

ジヨリパット不燃
JQ-200シリーズ
シンフォニー仕上げ
施工の手引き

平成19年5月25日【初版】

アイカ工業株式会社
第二R&Dセンター
建設樹脂開発グループ

< 使用材料 >

材 料	商 品 名	概 要	荷 姿	標準施工面積
シーラー	ジヨリパットシーラー JS-500	水性タイプ アクリル系 1液型透明シーラー	1.8kg 石油缶	約 5.14 m ² / 缶
主 材	ジヨリパット不燃 JQ-200 シリーズ 標準色 JQ-200、JQ- (... 数字) 特注色 JQ 200 (... 英字、 ... 数字)	アクリル共重合樹脂 水性仕上塗材	20kg ^レ 缶	A色 (淡色) 約 1.2 m ² / 缶 B色 (濃色) 約 2.6 m ² / 缶

A色 (薄い色) は、下塗り、上塗りに使用。

< 主な施工道具 >

- ・ステンレスゴテ (剣先ゴテ)

< 下地調整 >

標準下地は、石膏ボード (プラスターボード) 又はモルタルとする。

<シンフォニー仕上げ施工方法>

1. シーラー塗布

配 合	JS-500	18kg
	清 水	18ℓ
塗 布 量	0.07kg/m ²	
施工方法	ローラー刷毛又はスプレーガン	

3時間以上48時間以内

2. 主材 下塗り(A色)

・ジョリパット不燃A色を無希釈で0.8kg/m²となるようステンレスゴテで平滑に塗布する。

夏期 4時間以上

冬期 12時間以上

乾燥を確認後、次工程に移って下さい。

3. 主材 上塗り(A、B色)

配 合	JQ-200シ-ズ	20kg
塗 布 量	約1.5kg/m ² (A色、B色約0.75kg/m ² ずつ)	
施工道具	ステンレスゴテ A色、B色の2色を定板の上で均一にならない程度に軽く混ぜ、扇状にパターンを付ける。(図-1、2) この時、パターンがそろわないよう注意する。(図-3)	

24時間以上放置して乾燥させる。

< 施工のポイント >

- ・ 2色のジョリパット不燃を等量とり、定板の上で軽く混ぜる。

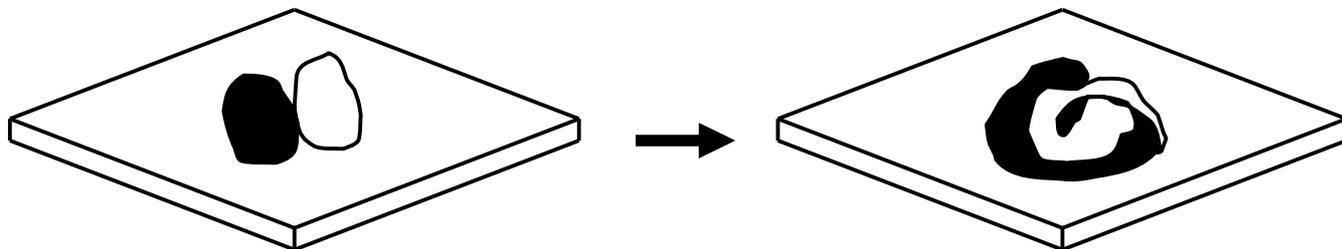


図 - 1

- ・ 壁面に対してコテを少し斜めに浮かし、塗材の表面をなでるようにコテを滑らせ、扇形にパターンを付けます。

下図の順番でパターン付けを行います。

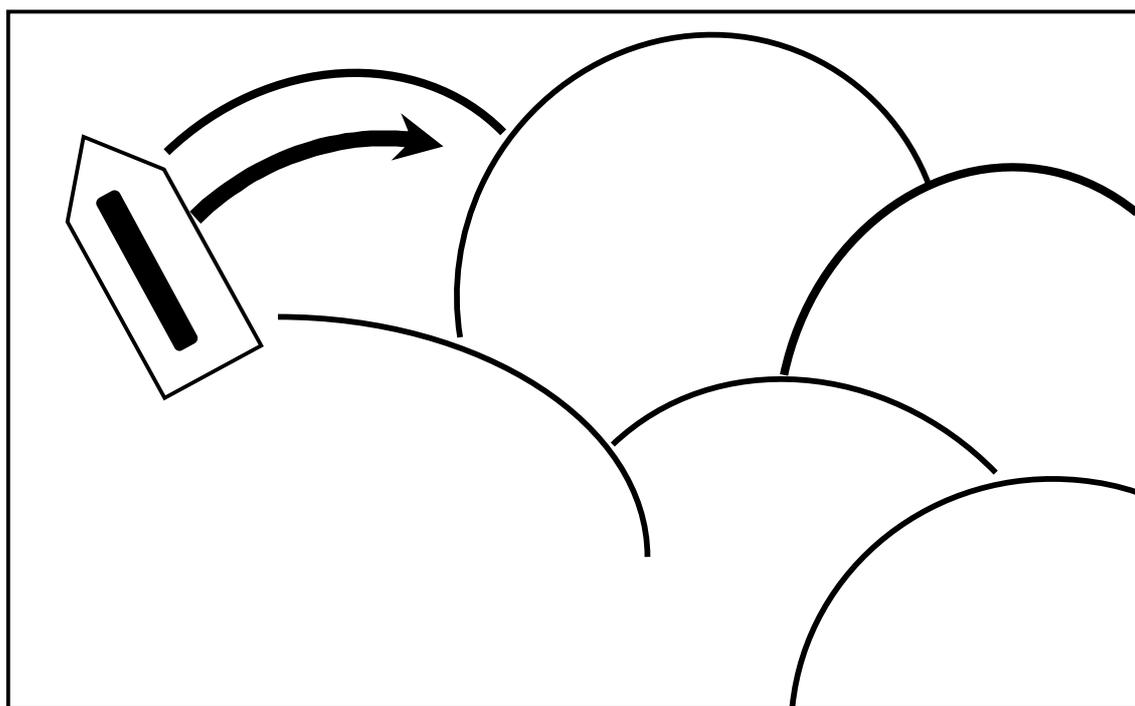


図 - 2

- ・扇状のパターンが規則正しく揃わないよう注意する。(図-3)

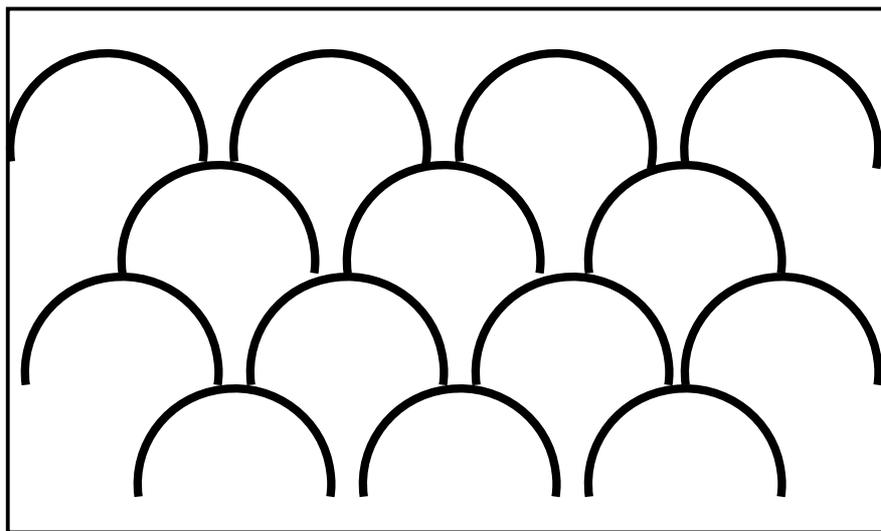
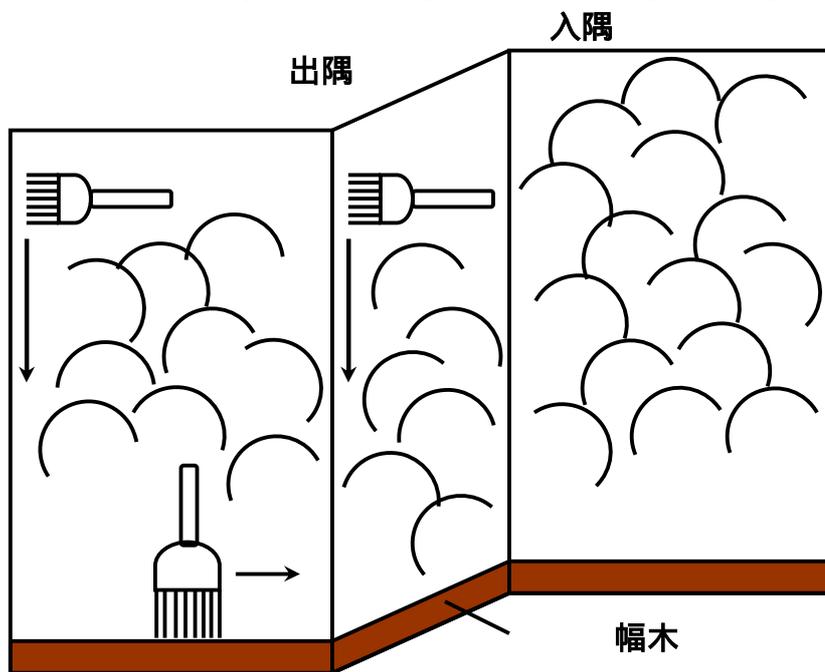


図 - 3

入り隅、出隅の処理方法

- ・ 入り隅や出隅、幅木のちりは、ジョリパット不燃が乾燥する前に水を浸した刷毛(平刷毛など)で押さえる。(図 4)



刷毛で押さえる工法

図 4

- ・ 何度もパターン付けをやり直すと、2色のジョリパット不燃が混じり合い、色がぼけます。
- ・ コテの大きさや形状によりパターンは多少異なります。
- ・ 何度もパターンの手直しをすると、ジョリパット不燃が乾燥して皮張りをおこし、仕上がりが悪くなるため、速やかにパターン付けを行って下さい。

< 施工の注意事項 >

- ・ 施工場所の気温が5 以下、湿度85%以上の場合、原則として施工を行わないで下さい。やむを得ず施工する場合は、採暖などの養生を行って下さい。
- ・ 施工前に必ずコンパネ等で試し塗りをを行い、仕上がり、乾燥性を確認して下さい。
- ・ 乾燥が比較的速いため、塗り継ぎ時間に注意して下さい。(特に大面積を施工する場合は、作業人工や化粧目地による分割を検討して下さい。)
- ・ **このパターンは作業者により仕上がりにバラツキの出やすいパターンです。塗板見本及び現場施工時のパターンの状態を、施主等の責任者の承認をいただいた上で施工を進めて下さい。**

以 上